



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月26日

上場会社名 JFEシステムズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4832 URL <https://www.jfe-systems.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大木 哲夫
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 高橋 学 (TEL) (03)5418-2400
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	46,452	12.9	6,044	32.0	6,088	31.9	4,065	32.9
2023年3月期第3四半期	41,161	10.8	4,577	9.9	4,617	9.9	3,059	10.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,177百万円(26.6%) 2023年3月期第3四半期 3,298百万円(14.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	258.83	—
2023年3月期第3四半期	194.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	45,624	28,999	61.5
2023年3月期	42,557	26,778	60.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 28,063百万円 2023年3月期 25,883百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	57.00	97.00
2024年3月期	—	64.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	54.00	118.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2024年3月期第2四半期配当金の内訳 普通配当 54円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,300	8.5	6,955	11.3	7,000	11.4	4,730	9.4	301.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 税金費用の計算は見積りに基づく方法によっております。詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	15,706,000株	2023年3月期	15,706,000株
2024年3月期3Q	1,077株	2023年3月期	1,023株
2024年3月期3Q	15,704,957株	2023年3月期3Q	15,704,977株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する前提は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年12月31日まで)における我が国経済は、物価上昇、世界的な金融引き締めに伴う影響等が景気を下押しする懸念があるものの、雇用・所得環境が改善するなど、景気は穏やかな回復が続くことが想定されます。情報サービス業界におきましては、企業のDX推進や働き方改革への取り組みに関連し、競争力強化・生産性向上を目的とした情報システム投資は引き続き堅調に推移しております。

このような事業環境の下、当社グループは、2022~2024年度の3か年の中期経営計画の2年目となる本年も、「製鉄所システムリフレッシュ本格化への対応」、「ソリューションビジネスの拡大・深化」、「自社プロダクトの強みの最大化」、「新技術の蓄積・活用による顧客との連携」、「クラウド・セキュリティ事業の強化・拡大」、「JFEグループのDX実績をもとにしたDX新規ビジネスの拡大」などの重要テーマの推進を継続しております。

また、当社は2023年9月に設立40周年を迎え、記念事業の一環として5月に発表しましたパーパスの浸透と当社の知名度アップを目的に広報活動を推進しております。11月には、日刊紙3紙(日経、朝日、読売)に全面広告を出し、2024年1月以降には、首都圏・西日本地区鉄道各社の「車内ビジョン」への広告など、様々な媒体での広報を通じて当社のブランド価値の向上につなげてまいります。

当第3四半期連結累計期間の営業成績につきましては、第2四半期に引き続き、全ての事業部門で売上が伸長し、特に、鉄鋼部門の製鉄所システムリフレッシュの進展が増収に寄与いたしました。また、売上高の増加に伴う利益増とともに、販売価格の改善等が奏功し、利益の額・率ともに過去最高を更新いたしました。これらにより、連結売上高は前年同四半期比5,291百万円(12.9%)増の46,452百万円、営業利益は前年同四半期比1,466百万円(32.0%)増の6,044百万円、経常利益は前年同四半期比1,471百万円(31.9%)増の6,088百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比1,006百万円(32.9%)増の4,065百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比3,067百万円増の45,624百万円となりました。このうち流動資産は、受取手形、売掛金及び契約資産や現金及び預金の増加等により前連結会計年度末比2,980百万円増の36,127百万円となりました。また、固定資産は、減価償却の進行等による減少要因がある一方有形固定資産が増加したことにより前連結会計年度末比87百万円増の9,498百万円となりました。

一方負債合計は、買掛金やその他科目の増加等により前連結会計年度末比846百万円増の16,625百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益を4,065百万円計上し、剰余金の配当を1,900百万円行ったこと等により、前連結会計年度末比2,221百万円増の28,999百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、前回予想時（2023年10月26日）から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,043,092	4,783,204
受取手形、売掛金及び契約資産	13,126,709	14,989,269
商品	25,129	96,173
仕掛品	181,349	207,154
貯蔵品	36,331	31,685
預け金	13,950,000	13,950,000
その他	1,790,828	2,092,139
貸倒引当金	△6,948	△23,118
流動資産合計	33,146,490	36,126,506
固定資産		
有形固定資産	2,113,231	2,386,129
無形固定資産		
のれん	538,009	470,758
その他	2,416,160	2,257,734
無形固定資産合計	2,954,169	2,728,492
投資その他の資産		
その他	4,360,575	4,400,292
貸倒引当金	△17,340	△17,340
投資その他の資産合計	4,343,235	4,382,952
固定資産合計	9,410,636	9,497,573
資産合計	42,557,126	45,624,079

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,709,856	3,179,742
未払法人税等	1,149,444	1,019,467
受注損失引当金	150,991	8,866
製品保証引当金	12,800	—
その他	6,857,350	7,181,725
流動負債合計	10,880,441	11,389,800
固定負債		
退職給付に係る負債	4,139,712	4,092,805
その他	758,507	1,142,476
固定負債合計	4,898,218	5,235,282
負債合計	15,778,660	16,625,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,390,957	1,390,957
資本剰余金	1,959,444	1,959,444
利益剰余金	21,687,281	23,851,888
自己株式	△1,055	△1,226
株主資本合計	25,036,627	27,201,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	741,966	774,771
退職給付に係る調整累計額	104,112	87,164
その他の包括利益累計額合計	846,078	861,935
非支配株主持分	895,762	936,000
純資産合計	26,778,466	28,998,998
負債純資産合計	42,557,126	45,624,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	41,160,924	46,451,888
売上原価	31,974,078	35,405,017
売上総利益	9,186,846	11,046,870
販売費及び一般管理費	4,609,564	5,003,327
営業利益	4,577,282	6,043,543
営業外収益		
受取利息	8,207	8,734
受取配当金	31,929	38,224
受取手数料	4,609	4,397
その他	1,192	1,439
営業外収益合計	45,937	52,794
営業外費用		
支払利息	2,496	2,478
固定資産除却損	3,466	4,317
その他	475	1,337
営業外費用合計	6,437	8,132
経常利益	4,616,781	6,088,205
税金等調整前四半期純利益	4,616,781	6,088,205
法人税等	1,464,169	1,927,349
四半期純利益	3,152,613	4,160,856
非支配株主に帰属する四半期純利益	93,765	95,950
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,058,848	4,064,907

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,152,613	4,160,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	155,406	32,760
退職給付に係る調整額	△10,071	△16,948
その他の包括利益合計	145,335	15,812
四半期包括利益	3,297,948	4,176,669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,204,014	4,080,764
非支配株主に係る四半期包括利益	93,934	95,904

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。